



本村幼稚園 12月の園だより

令和3年 11月 30日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

開園50周年記念式典に参加する意義

園長 山村 登洋



令和3年も早いもので師走の12月を残すだけとなりました。2学期後半は緊急事態宣言が解除となり、教育活動も少しずつ昔に戻りつつあります。

そんな中、12月4日(土)は開園50周年記念式典が開催されます。ここまで、周年実行委員会の皆様、P

T Aの皆様には何度も打合せに参加していただき、ありがとうございました。また、様々なご提案もいただき、大変良い流れで式典当日を迎えられます。

子供たちは、10年に一度しか経験できない式典に向けて練習に励んでいます。特にとは組の子供たちには単に幼稚園の50歳のお誕生日とだけに終わらずに、できるだけ分かりやすく「周年」「式典」というものを説明しました。先日は当日本村小学校の代表として一緒に参加してくれる6年生との合同練習もありました。6年生も式典となると緊張しているようで、園児たちの頑張っている姿を応援しながらも自分たちもそのレベルにもっていかねばならない緊張感がよく伝わってきました。

式典後に行われるアトラクションでの「ほんむら祝い太鼓」の練習にも熱が入ります。運動会とは隊形や演技場所が違いますし、なんと言っても本物の太鼓をバチで叩くのですから子供たちの練習の気合いは素晴らしいです。また、りす組は御神輿を担いで花を添えます。



このような子供たちの姿を見ていると式典当日の成功は間違いなしと確信してしまいます。大勢のご来賓やお客様に50年間積み上げてきた本園の歴史や伝統、そして子供たちの素晴らしさを披露できたらと思っています。式典、アトラクションでの子供たちの達成感は自己肯定感、自尊感情の向上に必ずつながります。

12月24日(金)は2学期の終業式となります。冬期休業中には、令和4年(2022年)を迎えます。コロナ禍での年末年始ではありますが、いろいろな方に会って挨拶や会話をしたり、ご家庭の仕事のお手伝いをしたりする機会があると思います。完璧ではなく、お子様が以前よりも少しでもできるようになった姿をぜひ、褒めてあげてください。ちょっとした声かけが子供たちの自己肯定感を向上させていきます。本年も皆様には大変お力をいただきました。ありがとうございます。皆様、良い年をお迎えください。

